

## 第4回「日本語海外研究者招聘事業」

### 招聘研究者決定

財団法人 博報児童教育振興会（理事長 近藤道生）は、第4回「日本語海外研究者招聘事業」の招聘研究者を決定し、4月1日付で発表いたしました。

#### 【本日の発表内容】

- ・ 厳正な審査の結果、本年度はタイ、アメリカ、台湾、ウズベキスタンより計4名の研究者が招聘者として選出されました。（別紙参照）
- ・ 研究は2009年10月～2010年9月の期間で行われます。
- ・ 国立国語研究所に加え、お茶の水女子大学、早稲田大学が新たに受入研究機関となりました。

#### 【本プログラムの設立背景】

- ・ 当財団では、日本語、日本語教育の研究分野および国語教育の発展と教育基盤の充実に資することを目的に、2006年度より新事業として、独立行政法人 国立国語研究所の協力を得て「日本語海外研究者招聘事業」を開始いたしました。
- ・ 本事業は、海外において日本語および日本語教育の分野で優れた研究業績を有し、且つ指導的立場にある研究者を招いて、新たな視点による研究や調査活動を支援していきます。そして、その成果を国内の当該分野の研究者、教育実践者へ還元してまいります。
- ・ 本事業では、現在までに世界有数の日本語研究者16名を日本へ招き、成果を上げております。詳しくは当財団ホームページをご参照ください。

<http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/program/index.html>

当財団は1970年児童教育を振興する目的で文部省（当時）認可の財団法人として設立されました。以来40年間、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」、「日本語海外研究者招聘事業」、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」、「ことばと教育 研究助成事業」など、「ことば」「文化」「教育」の領域を中心に、児童の豊かな人間性育成を支援してまいりました。

<この件に関するお問合せ>

〒108-0052 港区赤坂2丁目11番7号

財団法人 博報児童教育振興会

TEL 03(5570)5008

FAX 03(5570)5016

ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>

## 第4回 日本語海外研究者招聘事業 招聘者一覧

研究タイトル	招聘者	国籍	研究期間	受入機関
落語の小噺を利用した日本語および日本文化教育の評価と支援システムの構築	<b>畑佐 一味</b> (ハタサ カズミ) インディアナ州立パデュー大学 外国語・外国文学科 教授	日本(アメリカ)	2009年10月1日 ~2010年3月31日	お茶の水女子大学
第2言語としての日本語音韻処理の自動化について	<b>邱 學瑾</b> (キュウ ガクキン) 国立台中技術学院 応用日本語学科 准教授	台湾	2009年10月1日 ~2010年9月30日	国立国語研究所
依頼・断りでの会話における「説得」のコミュニケーション戦略 ＜ビジネス敬語表現の使用とコミュニケーションの関係を中心に＞	<b>Nadira Khalmurzaeva</b> (ノディラ ハルムルザエワ) タシケント国立東洋学大学 極東・南アジア諸国言語学部日本語科 日本語講師・博士課程研究員	ウズベキスタン	2009年10月1日 ~2010年9月30日	早稲田大学
タイにおける日本語教育のための日本語教授法の調査研究 ＜タイ人日本語教師のための日本語教授法のテキスト作成＞	<b>Suneerat Neancharoensuk</b> (スニーラット ニャンジャロンスック) タマサート大学 教養学部日本語学科 准教授	タイ	2010年3月15日 ~2010年9月14日	お茶の水女子大学